

郷の集い

発行部会 郷校愛護文芸部
編集責任者 清次郎
印刷 田印
久野田印刷株式会社

卒業生におくる

校長 北川 耕造

卒業生の皆さん卒業おめでとう。
皆さんは今、希望に胸をふくらませ、心は早くも、中学校のある舟津を駆けめぐっていることでしょう。

だが、落着いてくださいよ。昔から百里の道を行く者は、九十里をもって半ばとせよと申します。又物事は後になるほどむずかしくなるものです。こう考えると、皆さんは今ようやく義務教育の半分を終えたに過ぎません。それにこの頃は、ほとんどの人が高等学校へ進みますね。学校だけが勉強の場ではなく、生涯教育と言って、一生勉強しなければならぬのであります。私たちに必要な衣食住を始め、すべてのものは、世の中のあらゆる人々の働きによって生み出されるものです。

今日生きている人々の働きばかりではありません。私たちが現に勉強していることからも、実は何千年も前からの人々の遺産なのです。私たちは単にその遺産を受けつぐだけでなく、何倍にもねうちのあるものに高めなければなりません。そこに人類社会の進歩があるのだと思います。こんな所で気をぬいてはいけませんね。青は藍より出でて藍より青しと申します。弟子が先生よりすぐれることを言います。「私にはそんなむずかしいことはとても」などと尻込みしなさい。彼も人、あなたでなければ出来ません。それを皆さん自身で見つけ出してほしいと思います。最後に高村光太郎の詩をかかげてはなむけいたします。

このおじさんはぶきょうで
少年の声いろがまずいから、
うまい文句やかわいい歌で
みんなをうれしがらせるわけにゆかない。
そこでお説教を一つやる
としよう。
みんな集ってほん気で

「幾く川の流れたえずして、基の水にあらず、淀に浮ぶ泡沫は、かつ消え、かつ結びてしほしとどまる事なし。云々……」
私の日頃好んで口ずさむ方丈記の一節をここに引用させていただきます。この言葉の内容が、心がひかれ、胸がゆきさらされる思いがいたします。たゆまざる川の流れの如く、人の世もまたとどまる

回顧

河間 青木 仲子

と譜面にかつてのいろいろなことがなつかしく思い出しく甦って来ます。童心に夢かえって、嬉々として声張りあげた歌声美しいハーモニイがいまも聞える様な、また習字の時に書いた字なども、それもみな母親があれればこそ学び得た貴重なものでございました。学校の規模こそ小さいけれども、自然に思われた環境の中で、母としてのクラブ活動の出来るしあわせを噛みしめて、感謝せねばならぬのではなかつたかと思ひます。多様な世情に対処し、社会との連帯を考慮に入れて、母親級の美名に奢ることなく、鋭意真摯な活動を、展開して下さいませ。横、乞ひ願って居ります。一九七〇年代を生きねばならない私達も、と精神的に魅力ある母となる模心がけてまいりましょう。過ぎし日の母親級を回顧しつつ、新郷校の御発展をお祈りいたします。

御卒業おめでとう

北島 美 子

六年の月日はいつの間にか流れて、早、もう御卒業したと云えましょ。十六名の皆様が勿論のこと、御父兄の方々のおよそ、ごはどんなに大きいことでしょう。私も一年から三年まで、一緒に過ごさせていただきましたので、我が事のようにうれしく思います。今まで、新郷小学校という温床の中で、すくすくと育てられてきた皆様が、いよいよ外気にあてられるときが訪れ、十六名が、しっかりとスクラムを組んで、できていた幹が、いよいよ

感謝のことば

角屋 稲崎 キワ子

私は、皆様方の推薦により、母親級長の重大なし、母親級も大過なく、予

学校の充実に、三万円の浄財を寄付されました。学校では早速、世界のノンフィクション二十冊と光村の読書シリーズ二百四十冊を購入し、読書指導に役立てております。ここに紙面をかりて、厚く御礼申し上げます。

学校へ 匿名の寄付

小 木 薫

六年の、みなさんと走った時の運動会。ぼくは、あ、白組にいた、六年生の時、白組にいた、四年生が、走るときも、六年のみなさんが、力いっぱいおうえんしてください。だから、ぼくは、リング回しなことで、二等になった。その時、ぼくは、「およし、みんながおうえんしてくれるんだ、次の出番も、がんばろう。」と、思いました。そして、屋敷が終わって、また、ぼくの出番になった。その時、六年のみなさんが、おうえんしてください。だから、また、二等了になった。その時、ぼくは、うれしくて、たまらなかつた。ぼくは、六年生に、「おうえんしてくれてありがとう。」と、言いたいが、ぼくは、はさかしくて

定の研修を終え、一年間無事にすまされたことは、先生方をはじめ、皆様方のおかげだと、深く感謝いたします。思えば短かく、この間幼稚園に入学し、十数年の間、母親級の生徒として、懸命研修に励んでまいりましたが、子供の驚くべき成長の、はやくは私に、小学校和お別れかと思ひます、なんとなく寂しい感じでございます。最近では、日常生活の品々にしましても、機械がどんどん導入されて、今までの人手不足が解放されてまいりました。その結果出稼ぎに振り向けられることになり、私どもの子供を世の中のために養育する責任を果すのが、むずかしく、暖かく見守って正しい道に進んでいくよう心掛けて下さい。一人でも多く、学校へ出られまして、立派な伝統ある母親級になって下さい。この新郷校への限りなき愛着に、おなごり惜しゅう存じます。一年間どうもありがとうございました。これからの母親級の運営の発展を心からお祈りするものでございます。

卒業特集

卒業とは、学校生活の区切りでの生活です。新郷校でおそった教えを守り、更に学習に、スポーツに、小学校六年の、ひと区切りを終えることができた。四月からは、中学校の区切りです。

求める人間像

中森真治郎 正直で、よく働く人になりたいたい。

稲崎 恭彦 清潔で、がんばり強い、りっぱな人になりたい。

小本 英典 人から信用される、正直で、まじめな人になりたい。

小島 範久 正直で、社会に役立つ、まじめな仕事熱心な人。

青木 雅信 みんなから、代表に選ばれよう、まじめな人間になりたい。

小島 浩一 人に親しまれる、正直な人になりたい。

宮崎 和彦 まじめにはげみ、社会に役立つ人間になりたい。

小島 幸恵 親切で、みんなに好かれる、ほがらかな人になりたい。

藤島三千代 正直で、いつも明るく、親切で、まじめな人になりたいたい。

坪田江津子 人に喜ばれることや、親切なことをしてきたい。

八十島美奈子 優しい性格で、勇気のある人になりたい。

橋本ひろみ 正直で、素直な明るい性格の人になりたい。

青木さとみ ほがらかで、明るく、人には親切にしてあげたい。

高戸 静恵 友だち同志、楽しく、明るく、責任感のある人になりたい。

山崎 明美 明るく、正直で、だから好かれる人になりたい。

藤崎 麗湖 規律正しく、何んでも努力する人になりたい。

卒業を迎えて

北本堂 篠崎 照夫

昭和三十七年四月長男が入学してより十年、「光陰矢の如し」早くも今年長女が卒業を迎える事になりました。その間、子供が御世話になりました。諸先生方の御尽力に、又暖かい御気持ちで育てて下さいました愛護会の方々におすがり致しましたのみで、何のお手伝いもできなかったことを、紙上をお借りして、深くお詫言申上げますと共に、心から厚く御礼申し上げます。

新しい時代と共に、教育方針も異なりましようし、又、子供そのものの性格も人によって違うものと存じますが、過去六年間、色々とお教え戴きました諸先生方の御恩は、子供ながらに、終生忘れず、心に残すべき思い出として、心に残します。

今年を最後にお別れと思えますと、自分の身近にありながら、遠くに離れていく様な寂しい気がしてなりません。

校長先生はじめ諸先生方には、種々お世話に相なりましてありがとうございます。今後共社会の発展のために、教育に御尽力下さる様お願い申し上げます。御校の益々の御発展を御祈り致します。

卒業にあたって

中浜 藤島 サ ス エ

時の過ぎるのは、早いもいカバンをさげて、可愛い姿でこの学校に入学した時数えると、十二年間、子供達がお世話になりました。分らず、文字でさえ充分に読めなかつたでしょう。それが今では、体も立派になり、新聞も読めるし、手紙も書けるようになりました。そして天の踏み行なう道も、わずかながら、わきまえるようになりました。

中学生になつても、自分の考えを持ったしっかりとした良い人間になり、他人に迷惑をかけず、出来るだけ人のため社会のためになるような立派な人間になることを、心がけて勉強して欲しいと思います。

本間に、諸先生方の長い間の御指導は、感謝に絶えず。今後とも機会あるごとに御指導下さることをお願い申し上げます。

思い出

二年 竜田 はる み

六年生のおにいさん、おねえさん、ごそきようおめでとございませう。

わたしは、ずっと前、体力そくていの時のことを思い出します。

わたしが、しばふのまわりを五回走った時、どれだけの時間がかつたかをわかってもらうのにだれにたのもうかと思ひました。そして「おねえさん」

「何分何びようかみて。」

「妹をみるなんていやあ。」

「二分三十びようや。」

「はるみちゃん、わたしがみであげる。」

「だからわたしはさとみちゃんにたのみました。」

わたしの組は、十三人で、わたしがはいつしようけとられたことを今も、はつきり覚えてます。また、部活動やクラブの活躍や、行動が今でもはつきり目の中に残っています。そして、学習発表会の時や運動会の時は、きれいに、舞台やテント等を用意して、立派に成功されたことに感謝しています。これからは、は

御卒業おめでとう

五年 吉 江 孝 行

卒業生のみなさん、おめでとございませう。みなさん、この学校で、六年間通してきました。そしていろいろなことがありました。風の強い日には、先頭に立ち、みんなを無事学校へ送ったり、雨の日は小さい子に自分のかさを貸してあげたり、自分のことはかまわず、みんなと守ろうとする姿を見て、すっかり感心してしましました。大野での合宿の時は、夜おそくまで、起きていて、先生にお勉強にスポーツに精だし、健康に注意して、がんばって下さい。

ちが、そつきょうしてしまうとさびしいなあと思ひます。

六年生のおにいさんおねえさん、中学校に行つてもしっかりべん強してくださると思ひました。

わたしは、さとちゃん

子ども会

卓球大会に女子次勝

二月二十五日(日)午前八時半より、芦原中学校体育館で、町内子ども会卓球大会が開かれました。

参加チームは男子二十四チーム、女子十二チーム、計三十六チームが熱戦を繰りひろげました。

新郷校下からは、男子二チーム、女子一チームが参加し、女子は次勝というりっぱな成績をおさめました。

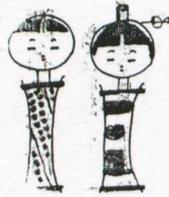
試合は、抽選でのブロック別のリーグ戦でおこなわれました。

新郷チームの女子は、Aコートで、三対二、四対一、五対〇、三対二、五対〇と五チーム全体から勝星をあげ、Aコートで優勝し、決勝戦で次勝になったわけです。

去年は三位でしたが、今年はいく頑張りました。

開会式で、次勝のメダルを首からかけてもらい、大変うれしうだったのが、印象的でした。

男子のAチームは、Cコートで、四勝一敗でよく頑張ったが、惜しくも決勝に残れませんでした。



児童の家庭生活

S.48.3.13 新郷小愛護会文芸部

調査日 S.48.2.18~19 (参考資料. 教育技術小4.)

調査対象 新郷小学校児童全員

子どもは、一日の生活の半以上を家庭で過ごしています。ですから、子どもの人間形成の上で、家庭生活の占める重みは大きいのです。とくに親子関係は重要になってきます。ですがその生活がどのようななされているか 案外知らないのが私たちです。そこで 勉強を除いた親子関係がどのようなであるか、特に お手伝い、おこづかい、家族旅行やスポーツ、食事などについて、その実態を知り、全国的傾向とくらべ、新郷小の特徴をつかみ、今後の教育、育児に役立てようという目的で、本調査をしました。

方法としては、各学年とも同じ調査用紙で、個人が該当のものに○をつけ、それを学年別、男女別に集計しました。

女子に多い お手伝い。
食事、掃除、るすばん

新郷小のお手伝いの男女差は 図1. のようです。男子よりも 女子が多くお手伝いをしています。特に 食事、掃除、るすばんなどが多く見られ、男子に多いのは おつかい、車の牛入れ、家の仕事の手伝いぐらいで、大部分は女子が多いです。学年別にみると、高学年になったから 多くなったとはいえないようです。全体的に あまりお手伝いをしていないようです。4年生の全国の調査とくらべても 少ないようです。とくに基本的生活に必要なことであるふとんのあげおろしなど、高学年になってもほとんどしていない人には 驚かされます。

図1. おてっだいする子の男女差 (新郷小)

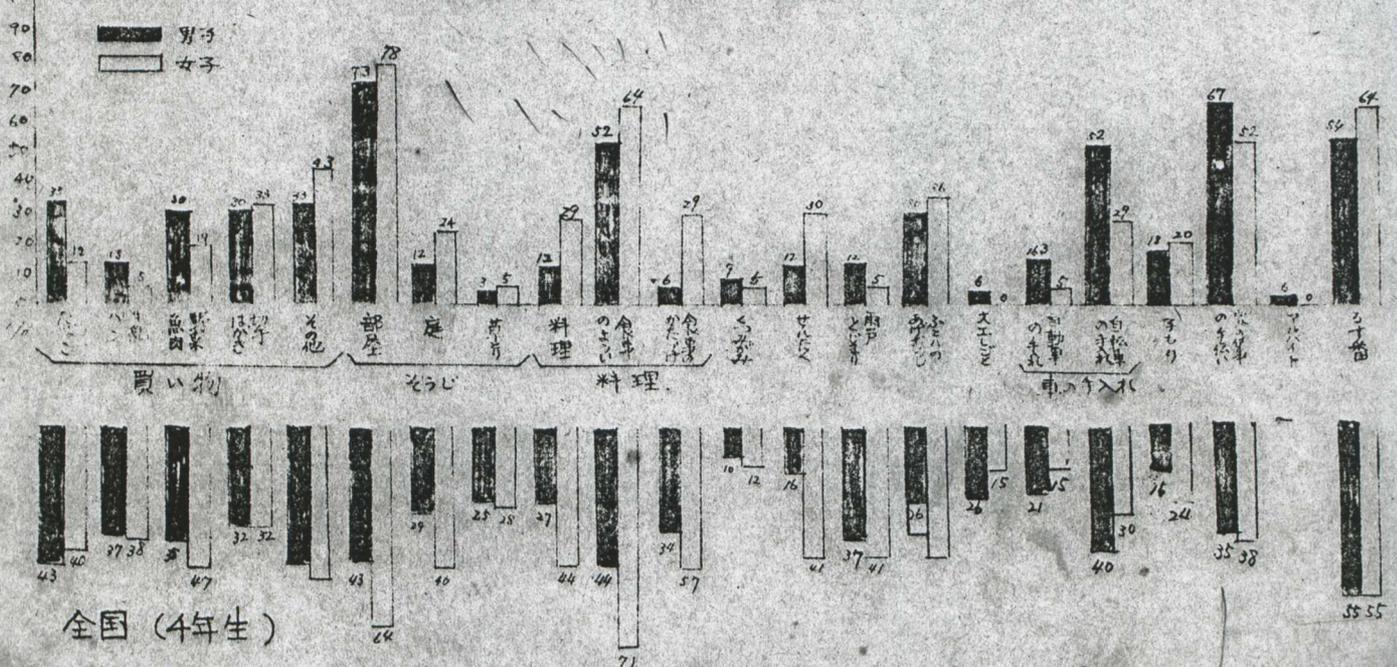


表1. (a) おこづかいの決め方 (新郷小)

学年	1	2	3	4	5	6
毎日	0	0	0	0	0	0
毎週	1	0	0	0	0	0
毎月	2	2	0	0	4	7
不定	8	11	8	13	6	9

(全国)(b)

学年	1	2	3	4	5	6
毎日	24	22	16	16	8	4
毎週	14	10	7	13	7	6
毎月	7	14	23	37	40	50
不定	55	54	54	34	45	40

おこづかい

おこづかいをどのように決めているかを調べてみますと、表1. のようで、ほとんどの子がいつでもほしい時にお金をもらっているようです。

表2. おこづかいの使い方 (新郷小)

	男	女	計
おやつ	17	22	39
まがの本	11	15	26
スポーツ	7	0	7
おもちゃ	8	0	8
雑誌本	2	0	2
貯金	16	28	44
学用品	19	24	43
趣味	3	7	10
その他	8	14	22

その金額は合計してみないからわかりませんが、相当高額であると思われます。高学年で月決めしている子の金額をみても 300~1000円までいますが、1000円の子が4人もいます。

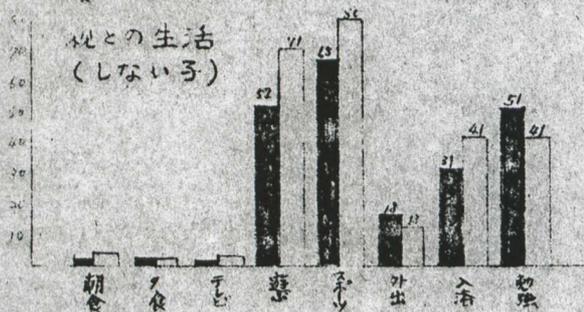
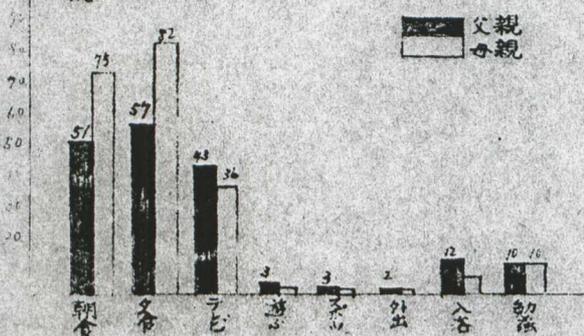
全国をみますと(b)のように、低学年では毎日が比較的多く、その額も10円20円が多いです。高学年になると月決めが半数近くになり、6年生では600円と決めている子が多いようです。

使い方

ベスト3は 貯金、学用品、おやつです。この傾向は1年から5年まで共通していますが、6年になると趣味が5割でてきます。

このことから雑誌やおもちゃなど、欲しい時に買ってもらえるので自分で買わず、おやつなどは現物でなく、お金で与えられていると思われます。男女別にみますと、一般に男子は女子に比べておもちゃ、スポーツなどに関心を持ち、女子はやはり小学生から堅実な貯蓄型のようなようです。

図2. 親との生活 (いつもする)



親子のつながり

母と子はどの家庭でも密接なつながりがありそうですが、新郷では母親とでも2割もの子がいつもいっしょに食事をするとはいえないのです。父親とでは半分になってしまいます。

父と子がいつも遊ぶ子は全校で1人しかいません。5割もの子がほとんど遊んでいません。母と子ではとみると、なお一層7割の子が遊んでいません。おかあさんも又働きバチでしょうか。

スポーツなどもほとんど少なく、全くしない方が大半です。

入浴を いっしょにする子は 小学1,2年でも半数ぐらいで 5,6年となってくると ほとんどなしです。低学年など いったい誰と入るのでしょうか。なぜか 首すじのよごれと関係があるようです。性別では 女子が父と いっしょに、男子が母と いっしょに 入浴しなくなってきました。全国的にもこの傾向がみられますが 特に新郷では 親と子のスキンシップも少ないようです。

家族ぐるみのレジャーは？

表3.

	年 5回以上	2~4回	1回	なし
人	20	49	2	2

家族そろって 旅行、ドライブ、海水浴、どこかへ遊びに行ったかの調査では 表3のようです。

ほとんどの子が 2~4回ぐらいはいますが 旅行となると あまりないようです。

全体に 感じたこと.

親子のだらんの機会が少ないことが 目立ち、親と子の接触が あまりないと思われます。例えば お手伝いにしても いっしょに手伝わせながら 生活でのしつけを教えることも少なく、お金は、気ままに計画性もなく 与えて、この子たちが大きくなったら 親のことをどう思うでしょう。あたたかい思い出が なつかしくわきでてくるでしょうか。父親だけでなく 母親までが 子供とのみそを 作っていくように思えてならないのです。